

社説

物價の前途

昨年十一月以來正貨の輸出入は從前と趣を異にし本年三月中旬までに金銀の輸出超過は既に二千五百七十七萬圓に上り昨年の春頃は一千萬圓を上下したる日本銀行の正貨準備も最近の報告に據れば七千七百萬圓内外に減少するに至れり斯く正貨準備の減少するに連れて日本銀行は積々金利を引上げ交換分を回収して通貨の收縮を謀りたるを以て普通の道理より云へば物價は次第に下落して貿易上に輸出超過の實を呈す可き筈なるに昨年來の實際を見れば容易に下落の望まきのみか却て昨今は騰貴の傾ありと云ふ世間一般の豫想に反したる現象にして今日物價の前途に就て種々の疑念を醸く者あるは已むを得ざる所なれども本來通貨の多寡が物價に變動を及ぼすに當て多少の時日を経過せざる可らざるは嘗て然の事にして若しも昨今の如く兌換制度の作用を自然の成行に一任せんには正貨の流出は永く其勢を收めずして今後大に通貨の收縮を招くを以て結局物價を下落せしむるの効ふとなるは明白の事實にして其作用は畢竟を増加し現に近頃の兌換券過報を見るに日本銀行が少したる制限外發行高が再び増加して四千萬円などする他の一方には製茶製絲の季節に入りて資金の需要、増加するときは日本銀行は如何にして之に應ぜんとするや大に注目すべき所なるが見て今日本銀行は保証準備の減少する内國に流連する貨幣の價格を騰貴せしめ物價の下落を促すが如きは到底望み難き所なる可知らずの所にして一時二千三百萬圓内外に減少したる制限外發行高が再び増加して千四百萬圓臺に上らんとするも畢竟斯る事情に出づるせんとすると同様の効力ある者なれば斯る場合に招くを以て結局物價を下落せしむるの効ふとなるは未だ其時に非ず殊に近年經濟社會の發達と共に商賈上に信用の行はるしに至りしたるは明白の事實にして其作用は畢竟を増加し現に近頃の兌換券過報を見るに日本銀行が少したる制限外發行高が再び増加して四千萬円などする他の一方には製茶製絲の季節に入りて資金の需要、増加するときは日本銀行は如何にして之に應ぜんとするや大に注目すべき所なるが見て今日本銀行は保証準備の減少する内國に流連する貨幣の價格を騰貴せしめ物價の下落を促すが如きは到底望み難き所なる可知らずの所にして一時二千三百萬圓内外に減少したる制限外發行高が再び増加して千四百萬圓臺に上らんとするも畢竟斯る事情に出づるせんとすると同様の効力ある者なれば斯る場合に

に依て行はるゝの常にして手形の流通高は年々大額に増加し通貨收縮して金融の逼迫せんとする場合には却て其流通を促し一時物價下

に依て行はるゝの常にして手形の流通高は年

々大額に増加し通貨收縮して金融の逼迫せん

とする場合には却て其流通を促し一時物價下

に依て行はるゝの常にして手形の流通高は年

々大額に増加し通貨收縮して金融の逼迫せん